

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和8年7月25日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 76
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～第一学期 終業式～

夏休みに入り一週間がたちましたが、子供たちは元気に過ごしているでしょうか。
大変遅くなりましたが、第一学期の終業式の様子についてお伝えいたします。



体育館に飾られた夏の花「アサガオとヒマワリ」に迎えられ、子供たちが入場してきました。暑い中でしたが、口を結び、しっかりと集まることができました。すばらしかったです。



開式です。気を引き締めて立っている様子が分かります。



校長の話です。子供たちには、「自分も友達も大切にできたかどうか」「畝刈小学校は皆の学校です。みんなの手で誰もが楽しいと思える思いやりのある学校になったかどうか。」

「さらにより良くしていくために一学期の『あぜかり教育』を振り返り、二学期はもっと良い学校にするために皆さんの手で頑張ってください。」と話をしました。

全員とても静かに話を聞いていました。さすが、畝刈小学校の子供たちでした。



次に、全校を代表し、1年生と5年生が一学期の振り返りと二学期に頑張ることを発表しました。

1年生は、「算数のひき算を頑張った。」「ブロックなどを使い、できるようになった時はうれしかった。」「二学期は、漢字を頑張ってきれいに書けるようになりたい。」「とても楽しかった。」「計算カードをめくりながら学習するのが楽しかった。」「図工で折り紙を使った工作をした。」「掃除をして学校をきれいにした。」「二学期は、ひき算や掃除を頑張りたい。」「もっと字をきれいに書くように頑張る。」



5年生は、「運動会で前に出て準備運動をしたこと。」「科学館でプラネタリウムなどを見たことがより良い経験となったこと。」「二学期は、遅刻をしない。そのために、早寝などを頑張ること。」「宿題を忘れずにがんばること。」「テストで100点を取ること。」「平和を目指すために頑張りたい。」「宿泊学習で調理を頑張りたい。」「みんなの笑顔のために、全力でサポートを頑張る。」

4名の子供たちが発表しましたが、4名とも堂々と一学期を振り返り、二学期に頑張る目標についてしっかりと発表することができました。





式の最後は、みんなで大きな声で元気に校歌を歌いました。体育館中に響き渡る歌声は最高でした。



終業式の後には、夏休みの生活について、生活指導担当から子供たちに話をしました。

夏には、子供たちを引き付ける魅力的なものがたくさんあります。水遊びや火遊び、物の貸し借りなど、気を付けなければいけないことやしてはいけないことなどがたくさんあります。ルールやマナーを守り、楽しい夏休みを過ごしてもらいたいですね。



長い夏休みです。暑い中ではありますが、この夏で一回りも二回りも大きく成長することができるよう、様々なことに挑戦し、しっかりと自分を磨いてもらいたいです。

次に子供たちが学校に戻ってくるのは、「**8月9日長崎原爆の日**」になります。長崎に住む者にとって**特別な一日**となります。平和を願う気持ちを高めながら、全員そろって平和集会を行うことができるよう心と体をしっかりと整えておいてもらいたいです。

ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

一学期も大変お世話になりました。二学期もどうぞよろしくお願いいたします。

畝刈小学校は、子供が主語・子供が主役

「子供ど真ん中」の学校

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する子供たち」を支えています。